

〈 科 目 〉

【実技（描画表現）】

◆出題方針

描画表現は、デザインに必要なプロセスであり、アイデアを確認し人に伝えるためのコミュニケーションテクニックのひとつです。基礎的な描画をとおして、デザインに対する関心やデザインを学ぶ意欲を確認するため、高校での美術の授業や身近にある日用品を描くなどの練習によって解答できる範囲で出題しています。

◆出題形式

総合型選抜および外国人留学生選抜は、文章や図から状態をイメージして描画する問題です。

一方、2月前期選抜および3月選抜は、上記の問題と、配布されたものに指示された簡単な加工などを施して、それを見ながら描画する問題、の二つから得意な方を一つ選んで描画することができます。

◆出題内容・設問解説

いずれの問題も、描画の対象とその状態（形・大きさ・材質・数・配置など）を鉛筆と色鉛筆を用いてフリーハンドで描画する方法です。

まず、設問に記載されている条件や描画ポイントをしっかり押さえて、完成した描画状態をイメージすることが大切です。

画用紙のどの位置にどのくらいの大きさを描けば、効果的に見えるかを検討します。描画時には、モノの材質感や存在感を考えて、

色の重ね塗りを考えることは、重要です（色鉛筆を用いることは必須条件）。

立体感を表現するために、陰影の強弱などを考えたりしながら仕上げていきます。

なお、全ての問題については、描画要素（条件遵守）、描画力（構図・質感・陰影）などの項目に分けて採点をしています。